

# とよた 市議会 だより

12月市議会  
定例会号  
平成27年2月1日

ファイルNo.  
125

火災予防条例の一部を改正する条例(議案第128号)

## 指定催しの業務計画未提出への罰則を設けます

工事請負契約の締結(議案第138号)

## 前林交流館を移転し新築します



青少年センター主催ダンス講座  
発表会の様子

ピックアップ  
TOPICS  
トピックス

### まちなかイベント会場で、ストリートパフォーマンスに挑戦!(桜町商店街)

豊田市青少年センター(東梅坪町)が豊田産業文化センター(小坂本町)4階に今年4月に移転し、リニューアルオープンします。これにより、産業文化センターには、国際交流協会、男女共同参画センター、科学体験館等が集約されます。

#### ●トップインフォメーション

特別委員会の報告・市民意識調査の結果報告 …… 2

●議案説明・討論 …… 4

●議案審議結果 …… 5

●常任委員会 付託案件・請願、陳情を審査 …… 6

#### 市政について問う!

●一般質問 19人の議員が質問 …… 8

#### ●トピックス

10月市議会臨時会の報告

中学生が議会を傍聴

ご存知でしたか?「豊田市議会」の看板など …… 12

# 特別委員会の報告

特別委員会は、市の重要な課題などについて専門的に調査・研究する委員会です。今年度は常任委員会等のあり方などを研究する「議会活性化推進特別委員会」と、市町村合併の検証などを研究する「合併10周年検証特別委員会」を設置し、調査・研究を行いました。詳細は議会ホームページをご覧ください。



▲市長へ提言を提出

## 議会活性化推進特別委員会

### 設置目的

他自治体の事例調査を行い、常任委員会・特別委員会の設置方法（設置年数、設置数、参加人員等）と議員提出条例の提出状況を調査・研究する。併せて定例会の会期等の見直しについて調査・研究する。

### 調査研究事項

- 1 常任委員会・特別委員会の設置方法（設置数、期間、定員等）
- 2 議員提出条例、委員会提出条例
- 3 定例会の回数、会期

### 行政視察

（平成26年10月21～23日）

- 滋賀県大津市：通年議会、政策条例
- 福岡県北九州市：委員会提出条例、常任委員会
- 岡山県倉敷市：常任委員会、議員提出条例

### 提言

#### 1 常任委員会・特別委員会の設置方法（設置数、期間、定員等）

- 常任委員会の設置方法は、現行のとおりとするが、次回の一般選挙から議員定数が45人となるため、委員会の定数を一部変更する。

企画総務委員会 10人 ⇒ 9人  
 予算決算委員会 45人 ⇒ 44人

- 常任委員会の活動は、現場視察を含め、テーマを設定した所管事務調査を活発にし、市民の声を広く集めるために団体との意見交換を行うなど、特に閉会中の活動を幅広く行う。

#### 2 議員提出条例、委員会提出条例

- 委員会活動や会派活動において、市民の声を真摯に受け止める中で、市民のために条例化が必要なものを議会から制定する。

#### 3 定例会の回数、会期

- 定例会の回数、会期は、現行のとおり年4回（6月・9月・12月・3月）とするが、通年議会が必要となった場合にすぐ対応できるよう、引き続き先進事例等の情報収集を行うこととする。

## 合併10周年検証特別委員会

### 設置目的

市町村合併から10年を迎える節目の年に、これまでの市の取組について、成果の検証を行い、今後のまちづくり・施策に活かす必要があるため、合併の検証と、他自治体の事例調査を行い、今後の施策に反映させるものとする。

### 調査研究事項

#### 1 調査の概要

- 意見交換会における検証項目の設定
- 意見交換会による意見集約
- 提言項目の調査

#### 2 意見交換会

あらかじめ5点の検証項目を設定し、各地区で地域づくりを担う各種団体の代表者に意見を聞くこととした。また、開催場所は平成17年の市町村合併の効果の検証という点から、旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡地区で開催することとした。（8月4日～18日に各地区1回、計6回）

- 合併後のまちづくりに関する検証項目

- ① 定住施策（農山村地域）の成果
- ② 地域自治体、住民によるまちづくり
- ③ 地域間の交流、市としての一体感
- ④ 森林環境整備
- ⑤ 生活基盤等の整備



意見交換会の様子▶

### 行政視察

（平成26年10月21～23日）

- 静岡県浜松市：中山間地域振興基本計画
- 新潟県上越市：中山間地域振興基本条例と条例制定後のまちづくり
- 群馬県前橋市：合併の検証（合併検証報告書）

### 提言

#### 1 中山間地域に対する定義の確立と市民意識の向上

- 市民全体で、中山間地帯のことを考えることが、中山間地域の振興、そして豊田市の持続可能な発展につながることを確信する。
- 今までの「合併地区」という考えではなく、「豊田市における中山間地域」という定義を明確にする必要がある。
- 中山間地域のもつ多面的機能を市民全体で守り支えていくために、市民の理解を得るための意識啓発が極めて重要である。

#### 2 市民共有の財産である中山間地域を守るための更なる振興策の推進

- 多岐にわたる課題に対応するために中山間地域振興基本計画、その取組を強力に後押しする中山間地域振興基本条例の制定に向けた取組が必要である。

#### 3 中山間地域振興に取り組むための推進体制の強化

- 振興条例・振興計画などの下、施策推進の要となって取り組み、地域の実情に対応できる専門部署の新設などの推進体制の強化が必要である。

# 市民意識調査の結果報告

## 第二回 議会に関する市民意識調査

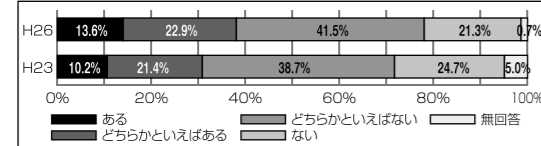
### 調査の概要

調査対象：豊田市在住の20歳以上の市民  
 調査方法：郵送配布・郵送回収  
 抽出方法：無作為抽出  
 調査時期：平成26年9月  
 配布数：5,087票  
 回収数：3,089票（回収率：60.7%）

### 調査結果

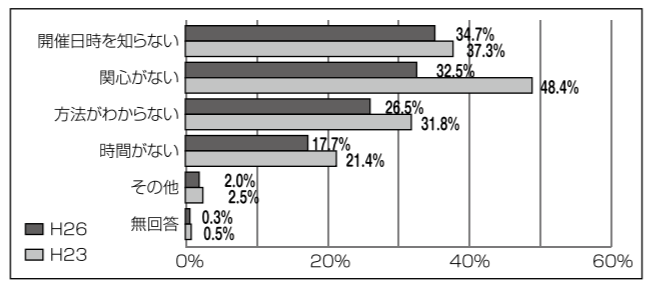
#### (1) 市議会への関心度

「関心がある」が3.4ポイント、「どちらかといえばある」が1.5ポイント増加し、「関心がない」は3.4ポイント減少しました。



#### (2) 議会の見聞状況

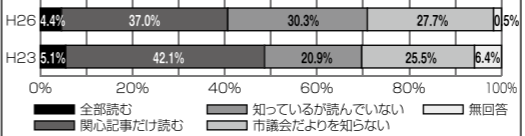
見聞したことがない理由は「開催日時を知らない」が一番多いことがわかりました。「関心がない」は約16ポイント減少しました。



皆様にご協力いただき市議会の市民意識調査を実施しました。その概要をお知らせします。なお、報告書は、議会ホームページの他、南庁舎1階情報コーナーでご覧いただけます。

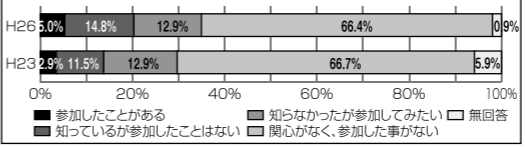
#### (3) 市議会だより

「関心事務だけ読む」が5.1ポイント減少し、「読んでいない」が9.4ポイント増加しました。



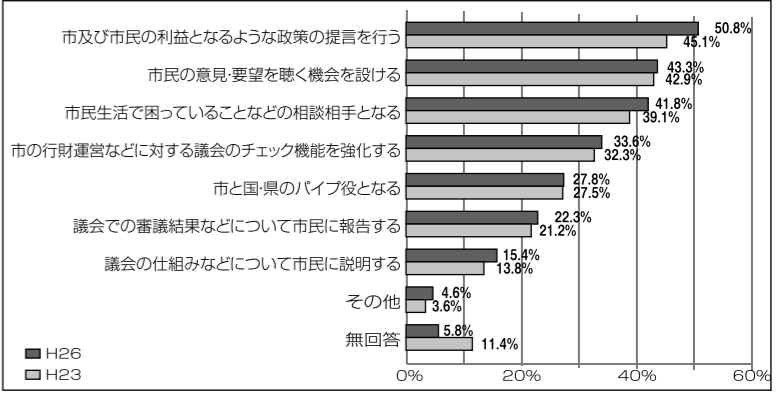
#### (4) 地域市議会報告会

「参加したことがある」が2.1ポイント、「知っているが参加したことはない」が3.3ポイント増加しました。



#### (5) 議会・議員への期待

「市及び市民の利益となるような政策の提言を行う」が一番多く、5.7ポイント増加しました。



# 条例の制定・一部改正、工事請負契約の締結など41議案を議決

## 青少年センターが産業文化センター内へ移転します

【議案第122号】豊田市青少年育成施設条例及び豊田産業文化センター条例の一部を改正する条例

【内容】施設利用の対象者を勤労青少年から幅を広げ、事業内容を以下の3点明示します。①ボランティア事業、高校・大学生の活動支援など青少年の社会参画事業②二トひきこもり対策、出会いの機会創出などの青少年の自立支援事業③青少年育成団体の活動支援。

## 条例で禁止!金属・資源ごみの持ち去りは罰則

【議案第124号】一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

【内容】ごみステーションの設置が自治区の届出から市長の承認が必要となる許可制にかわります。また、金属ごみ及び資源ごみを持ち去った者に対し、条例に基づいた指導、禁止、名前の公表、罰則の適用等ができるようになります。



## 逢妻衛生処理組合を解散

【議案第151号～第154号】逢妻衛生処理組合の解散に関する協議はじめ4議案

【内容】本市と知立市とで、し尿処理施設の運営を組合で行っていましたが、し尿処理の経費を削減するため組合を解散し、事務を本市が継承します。組合の解散は今年3月31日です。

## 討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

**根本美春** 放課後児童クラブの  
諸 派 民間委託に反対

議案第132号は、反対。放課後児童クラブの運営を民間業者に請負契約で委託すると、市が指導員に業務の指示を行うことができなくなり、市が求める指導員の「質の向上」が図られるのか疑問。効率化優先の市の責任が問われるものである。

請願第3号は、誰もが安心して医療・介護を受けられる権利を根本から崩す国の社会保障悪化に反対し、住民を守るため市に介護保険・福祉医療制度・国保・予防接種助成の拡充を要請するものであり、賛成。

**太田博康** 財政調整基金  
自民クラブ 積み立てに賛成

議案第132号は、賛成。市税を中心とする本市の歳入は、今後、法人市民税の一部国有化、法人実効税率の引下げ等により減ることが予想される。法人市民税の増収分を財政調整基金に積み立て、様々なリスクに備える補正予算を評価する。

議案第138号は、経済環境の変化による工期の遅れが、結果的に地域住民の議論の熟度を高め、木造平屋建てという高齢社会も見据えた人に優しく、風景にマッチしたプランとなった事を評価し、賛成。

**古木吉昭** 青少年の育成・自立・  
市民フォーラム 居場所の充実に賛成

議案第122号は、新・青少年センターが、自主活動の場や青少年団体の拠点等5つの機能を持ち、特にイベントの企画運営等、まちづくりや地域活動に主体的に関わることが確認でき、賛成。青少年の育成・自立・居場所の充実となる事を期待する。

請願第1号から第4号は、反対。1号のマクロ経済スライドは、慎重な調査の結果が必要な場合、ある程度やむを得ないと判断する。2号の嘆願書にある4項目は、国の基準に基づき適正に実施しており、不同意。

**鎌田ひとみ** 地元中小企業の  
公明党 育成に向けて賛成

議案第129号は、賛成。しかし、教員の多忙化が問題となっている今、特に合併町村に勤務する教員は、遠方からの通勤が更なる負担となる。画一的な判断ではなく、更に議論も必要と考える。

議案第143号、150号は、賛成。地域内経済の循環・活性化を目指すなら、地域に根差した中小企業を守り、育成する事が市の税収増にも寄与すると考える。今後は大企業に依存するだけでなく地元中小企業の育成にも力を入れる事を意見として申し上げる。

**岡田耕一** 罰則・罰金の適用に  
諸 派 よる抑止力効果に賛成

議案第119号は、本市における景気実感は「悪い」と考える市民が大幅に増えている他、報酬等審議会による客観的な判断も必要と考えることから、反対。今後報酬審には議員・特別職の期末手当も審議事項に入れるべきとの意見も申し添える。

議案第124号は、ごみの持ち去り行為に対し、条例に裏付けられた指導、禁止命令、氏名の公表、罰則の適用ができることは大きな抑止力になるため、賛成。罰金の金額、条例の施行時期も妥当と評価する。

**青山さとし** 特定疾患患者への  
諸 派 継続支援に賛成

議案第125号は、県の独自指定である肝硬変・血清肝炎に加え、新制度に伴い難病指定から外れるスモン・重症急性膵炎・難治性の肝炎のうち劇症肝炎の患者への見舞い給付を継続できる改正でもあり、賛成。

議案第130号は、食肉センター民営化後も市が支援を続ける事になるが、業績によっては修繕費用・処理費用の負担割合を見直すとの答弁から、事業者の「責任」と「民営化のメリット」を十分に発揮できるよう期待し、賛成。

※議案名など一部省略して記載しています

## 12月市議会定例会に提出された案件

採決結果	議案	会 派 別 賛 否								
		自民クラブ27名		市民フォーラム9名		公明党4名		諸派4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
◆議案	第117号	原案可決	27	0	9	0	4	0	4	0
	118	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	119	//	27	0	9	0	4	0	1	3
	120	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	121	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	122	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	123	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	124	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	125	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	126	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	127	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	128	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	129	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	130	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	131	//	27	0	9	0	4	0	2	2
	132	//	27	0	9	0	4	0	2	2
	133	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	134	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	135	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	136	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	137	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	138	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	139	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	140	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	141	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	142	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	143	//	27	0	9	0	4	0	2	2
	144	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	145	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	146	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	147	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	148	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	149	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	150	//	27	0	9	0	4	0	2	2
	151	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	152	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	153	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	154	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	155	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	156	//	27	0	9	0	4	0	4	0
	157	//	27	0	9	0	4	0	4	0
◆同意	第5号	同意	27	0	9	0	4	0	4	0
◆報告	第12号	専決処分の報告(和解の成立1件、損害賠償額の決定3件、訴えの提起3件)								
◆請願	第1号	不採択	0	27	0	9	0	4	2	2
	2	//	0	27	0	9	0	4	2	2
	3	//	0	27	0	9	0	4	2	2
	4	//	0	27	0	9	0	4	2	2
◆陳情	第7号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書								
	8	介護従事者の処遇改善を求める陳情書								
	9	愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める陳情書								

12月17日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。  
委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

委員会

産業建設  
委員会

12月18日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第139号】工事請負契約の締結  
(一級河川安永川開水路整備工事(秋葉工区))

**質問** 業者選定における評価項目と施工計画で求めたことは、入札参加資格要件に地元業者への配慮はあったか。

**答弁** 評価項目は、施工計画、労働者提案及び企業の技術力、信頼性、社会性の3点で、施工計画では振動対策、掘削効率、新しい河川への切り替え方法の3つを技術提案で求め、契約締結業者はいずれの項目も高い評価だった。また、代表構成員、構成員ともに市内業者を入札参加資格要件とし、地元業者に配慮した入札を行った。

【第149号】指定管理者の指定  
(井上公園(水泳場を除く))  
【第150号】指定管理者の指定(井上公園水泳場)

**質問** それぞれの指定管理者の評価及び井上公園と水泳場で管理者が異なることによる影響は。

**答弁** 井上公園の指定管理者は、地域住民のスポーツの推進と健康の増進に寄与しており、水泳場の指定管理者は、より良い行政サービスを提供するため、現段階で最も効果的かつ効率的に施設運営ができる企業を選定した。

また、指定管理者がそれぞれ異なるが、施設運営委員会を設置し、連携を図る提案もされており、影響はない。



環境福祉  
委員会

12月18日、付託された9議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願3件は不採択としました。他に陳情3件を報告しました。

【第124号】豊田市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

**質問** ごみの持ち去り行為に対して禁止命令及び告発は、どのように行っていくのか。

**答弁** パトロールによる発見や、通報により特定できた行為者に、持ち去ることが条例で禁止されていることを指導し、指導に従わず再度持ち去り行為を行った者に行政処分として禁止命令を出すとともに、氏名を公表する。さらに禁止命令に違反して金属ごみ・資源ごみを持ち去った者には警察へ告発を行い、告発を受けた警察が検挙し、裁判で認められると罰金が科せられる。

【第144号】指定管理者の指定  
(豊田市温浴施設じゅわじゅわ)

**質問** 前回の評価において、コスト点検等の取組がA評価である。これは、電力需要監視システムを導入したことによることだが、管理運営コストの具体的な削減効果は。

**答弁** 特徴的な対策として、(株)豊田ほっとかんが設置した最大電力監視装置がある。これは、最大電力値を超えた場合に警告が発せられる装置で、警告が発せられた場合には、あらかじめ定めた優先順位に基づき電源を切るなどしてピーク時の電力使用を抑え、電気料金の削減に努めている。この施設は、併設されている有料老人ホーム及び西部コミュニティセンター等と一体的な建物であり、温浴施設じゅわじゅわに限定した削減効果は算出できないが、建物全体では、装置導入前の平成21年度と比較し、年間で約110万円の削減効果があった。

教育次世代  
委員会

12月19日、付託された10議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第122号】豊田市青少年育成施設条例及び豊田産業文化センター条例の一部を改正する条例

**質問** 移転先の産業文化センター近隣には公的施設が多くあるが、他の施設や関係機関との連携や活動を想定しているか。

**答弁** 他機関との連携として、産業文化センター内にある科学体験館、男女共同参画センターや国際交流協会等のイベント・事業への青少年センター利用者の参加や、ボランティア活動などへの支援が挙げられる。また、青少年センターの講座に各機関の関係者を講師として依頼するなど、多様な連携を図ることができる。活動の場や機会を求める青少年と、若い発想と行動力を期待する各機関等をつなぎ、青少年の交流や地域活動を促進する取組を積極的に行っていく。

【第157号】工事請負契約の締結  
(豊田市美術館改修工事)

**質問** バリアフリー化工事を実施することによる効果は。

**答弁** これまで車いすを利用される方は、職員等が利用する地下2階の通用口から入り、1階の受付まで案内していたが、新たに車いす利用者用駐車場を設置し、受付のある美術館東側1階入口から入館できるようになる。また、2階の展示室から3階の展示室への移動や高橋節郎館における観覧ルートも、これまでは通常の順路とは逆回りに移動する必要があったが、エレベーターの

新設やスロープの設置等により通常の観覧ルートとほぼ同じ順路で移動することが可能になる。



生活社会  
委員会

12月19日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第138号】工事請負契約の締結  
(豊田生涯学習センター前林交流館移転新築工事)

**質問** 地域住民とどのように協議を行い、地域の意見を具現化しているのか。

**答弁** 平成20年10月、地元住民による建設準備委員会が立ち上がり、平成22年に正式に建設委員会が発足した。建設委員会は、合計14回の会合と他の交流館の視察等を行い、市と共働して検討を進めてきた。その中で、平成24年7月に出された豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針を受け、建設委員会で検討した結果、交流館の周辺が田園である前林地区では、木造がふさわしく、さらに利用者にもやさしいという視点から木造平屋建てに決定した。



企画総務  
委員会

12月22日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。

【第117号】豊田市風致地区内における建築等の規制に関する条例

**質問** 自然環境が良好な地区はほかにもあるが、なぜ指定されているのが矢作台地区の1箇所のみなのか。

**答弁** 風致地区は、自然的環境を維持する目的で指定するもので、昭和36年に矢作台地区(明治用水頭首工一帯及びその周辺56.7ha)を指定した。しかし、それ以降、自然景観や緑地を保全する同様の手法として、都市計画法に基づく都市緑地の指定を多く行っており、風致地区制度以外の手法も活用しながら緑地保全等を進めてきたため、結果として風致地区の指定は1箇所のみとなっている。

**質問** 市で条例を制定することにより、今後、風致地区制度をどのように活用していくのか。

**答弁** 今後は、自然景観や緑地の保全といった取組において、保全する地区の特性や建築制限のあり方を検証する中で、他の制度も含めた緑地保全等の手法の一つとして、必要に応じ風致地区制度を活用していきたい。



予算決算  
委員会

12月17日から24日にかけて、付託された補正予算6議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第132号】平成26年度 豊田市一般会計補正予算(財政管理費)

**質問** 法人市民税の補正額119億円を全て財政調整基金に積み立てるが、来年度以降の基金に関する見解はどのようなか。

**答弁** 具体的な積立目標額はないが、リーマンショック後、財政調整基金を221億円取り崩し、市民サービスの維持に努めてきた。本市の財政運営が、今後も景気の変動により大きく上下することには変わりはないため、平成21年度以降減らしてきた残高を、平成20年度末の残高に少しでも近づけていくことは必要と考えている。

【第132号】平成26年度 豊田市一般会計補正予算(債務負担行為補正)  
【放課後児童クラブ運営業務委託事業】

**質問** 債務負担行為期間が終了した後、将来の運営業務委託をどう考えているか。

**答弁** 債務負担行為期間の終了年度である平成29年度に、再度、プロポーザル等を実施し、事業者を選定していく。今後、全ての放課後児童クラブの外部委託を目指していくが、将来の考え方としては、地域子どもの居場所づくり事業との一体的な運用を視野に入れており、放課後児童クラブの運営が受託できる地域の団体があれば、優先して委託していく。

12月15日から17日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

鈴木 章

自民クラブ



- 豊田市の医療提供体制整備への取組
- 地方教育行政制度の改正
- 豊田スタジアムの適正管理と有効活用
- 小規模特認校制度の実績と今後の方向性

質問 小規模特認校制度の拡大と地域活性化

小規模特認校制度の中学校への拡大について、どのような方針で実施するのか。また他の小規模校への拡大も含め、同制度を今後どのような方針で発展させていくのか。

答弁 学校教育部

現在、小規模校に当たる中学校がないため、制度としての中学校への拡大は考えていない。「小規模特認校の卒業後は、居住区の中学校へ進学する」というこれまでの原則を見直し、特認校と同地区の中学校に進学できる体制づくりを行っていく。今後の方針においては、学校と地域が連携・協力し、より特色ある教育活動を進めることが地域の活性につながることを、その仕組みを作っていく。また対象校を、平成28年度の募集から複式学級を持つ学校にも拡大する。

日恵野 雅俊

自民クラブ



- 豊田市のおもてなし
- 商業振興施策

質問 次期商業振興プランへの提言

高齢化によりやる気はあるが頑張れない商店街もあるが、支援すべきではないか。また商店街の街路灯の維持管理・老朽化による撤去等にも支援が必要と考えるが市の見解は。

答弁 産業部

商店街における頑張ることができる、頑張りがたくも頑張れないという二極化は商業振興委員会でも議論されてきた。それを受け、個店が繁盛することが商店街全体の活性化につながると

の考えから、次期商業振興プランにおいては人材育成に重点的に取り組むことを一つの柱としている。街路灯は、電気料金の9割・更新費用の5割を補助しているが、老朽化した街路灯について撤去費単独の補助は行っていない。今後は商店街への聞き取りや現地調査を行い、補助の実施を考える。

山野辺 秋夫

市民フォーラム



- 魅力ある都心づくり

質問 都心環境計画の推進

都心には魅力あるシンボルが必要と考えるが、平成26年10月に公道走行実証実験を行った搭乗型移動支援ロボット「ウイングレット」をシンボルとして活用する考えはあるか。

答弁 都市整備部

実証実験のアンケート結果では、街中でウイングレットが利用できることで「来街頻度が増える」「買い物や業務時の行動範囲が広がる」等、観光振興や中心市街地の活性化の観点で期待が寄せられている。都心環境計画（仮称）におけるウイングレットの活用については、北地区再開発など施設内移動も含めた都市内の移動支援の中で、モビリティの一つとして、また魅力づくりの一つとして引き続き活用の検討を進める。



豊田市駅前での実証実験の様子

青山 さとし

諸派



- 豊田市の観光
- ラグビーワールドカップ試合会場・招致活動
- 行政相談委員制度

質問 豊田市の観光協会

豊田市観光協会は平成27年度ま

で法人化が提言されているが、現在の状況は。また市内8つの観光協会の統合について、本市及び各観光協会の会長・事務長の考えと実現に向けての考えを伺う。

答弁 産業部

現在、合併後10年の振り返りを行っているところであり、豊田市観光協会の法人化・地区観光協会の関係については、引き続き検討していく。また、各観光協会と今後のヒト・モノ・カネについて考えていただくという議論を進めているが、特に統合に関する意見の把握には至っていない。今後は、提言を受けた統合に向けて検討していく。



市内観光協会 秋八景ポスター

原田 勇司

自民クラブ



- 公共施設マネジメント（更新・維持保全）
- 子どもたちの教育環境の充実

質問 公共施設が抱える課題と更新・維持保全について

既存公共施設の更新等に必要なた概算費用と財源対策について伺う。また公共施設マネジメントにおける当面の作業内容と今後の地域との関わりについても伺う。

答弁 税務財産部

現在保有する1,250施設全てを今後も保有し続ける前提で、平成27～83年の更新費用を試算したところ57年間で通算約9,072億円となった。年推移としては、平成39年度に100億円を超えるため、今から計画的な財源確保が必要である。また平成27年度から施設更新計画を、施設の機能集約や複合化を検討し、再配置計画としてまとめる。策定に際しては地域会議委員の皆様アンケート結果も参考に、地域課題を解決するために施設が持つべき機能を、住民の意見を踏まえながら検討していく。

※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

大村 義則

諸派



- 公的負担の在り方
- 公共事業における安全管理

質問 豊田スタジアムへの財政負担

豊田スタジアムの建設以降の市財政の持ち出し総額を示されたい。また、平成26年度からの19年間の修繕に係わる検討の概算費用はいくらであるか。このような多額の市財政の持ち出しは妥当ではないので、抜本的な対策を求める。

答弁 教育行政部

平成14～25年度まで12年の持ち出し総額は82億7,700万円余、修繕に関する概算費用は約108億9千万円である。対策については、指定管理料の精査や委託業務の契約見直し等により平成27年度は3,000万円超の削減を見込んでおり、今後も削減努力を継続する。費用対効果を高める施設運営を目指し、(株)豊田スタジアムと連携しながら、ラグビーワールドカップやサッカー国際試合の招致、全国ツアーコンサートの誘致に努めていく。

杉浦 弘高

自民クラブ



- 豊田市基幹運動公園・猿投運動公園の機能再生
- 産業支援政策の健全なあり方
- 里山の再生から創生

質問 基幹運動公園としての充実再生整備

猿投公園が更なる自然型運動公園となるよう①布袋池水質浄化に向けた新たな水源確保、②枯葉による昆虫の住処確保、③ランニングコース延長・照明等の充実を提言するが、見解は。

答弁 都市整備部

①については井戸が考えられるが、掘削調査が必要である他、水質等多くの条件をクリアしなければならない。そこで布袋池の水質浄化対策として

は、護岸改修により池の容量を小さくし淀みを減らすと共に、葦を植え水質悪化の原因物質を吸着する方法を試行する。②は、生態系や周辺環境、景観との調和に配慮し今後も充実を図る。③は、今後の利用状況や市民の要望を考慮し、施設更新時期や上位計画との整合を図りながら対応する。

神谷 和利

自民クラブ



- 公有地の民間住宅への利活用
- 地域の課題を解決するしくみ

質問 雇用促進住宅の今後

国が民間に売却をする際には、環境先進都市にふさわしい優良宅地として再開発するよう売却条件をつけることができないか伺う。

答弁 産業部

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構によれば、現時点では平成33年までに廃止される市内の雇用促進住宅6か所がいつ頃に廃止・譲渡されるのか、住宅として譲渡されるのか、更地で譲渡されるのか、定まっていないとのこと。従って売却条件についても、特に定まっていない状況にある。売却にあたっては、住宅用地など地域の実情や周辺環境に適した秩序ある土地利用が図られるよう、本市としても機構に対して働きかけていきたいと考えている。

深津 真一

自民クラブ



- 豊田市の給与構造改革
- 少子化対策
- 子ども支援と青少年を取り巻く環境

質問 出会いから結婚

婚活事業の実施には、当事者である若者の声の反映や地域特性を活かした魅力あるプログラムなど様々なアプローチが可能と考える。旧市内に限らず合併地区に分散した企画

が大切である。今後の婚活支援の充実・強化について伺う。

答弁 子ども部

若者が単に婚活イベントに参加するだけでなく、企画段階から携わる婚活事業に取り組み、より緊密なコミュニケーションの場を提供していく。地域特性を生かし、三河湖ウォーキングや旭のカヌー体験等を実施した。引き続き地域資源を生かした取組を行う。また婚活陶芸では、募集に苦慮していた女性枠が先に埋まるという現象もあり、今後も若者のニーズの把握やプログラムの工夫・充実・強化に努める。



婚活クリスマスパーティー2014の様子

清水 郁夫

自民クラブ



- 感染症対策
- 郷土愛の育成とその取組

質問 さまざまな感染症のまん延を防ぐには

感染症が発生した場合の感染症対策に関する「保健所の役割」を伺う。

答弁 健康部

保健所の役割は感染症法に基づいた、地域での感染症発生の予防と、まん延防止である。例えば周囲に感染を広げるような結核患者の場合には、指定医療機関への入院勧告・就業制限を行うと共に、行動等を調査し接触者がいる場合は健診・検査を行う。また適切な医療の実施と患者の人権尊重のため、治療内容や入院勧告・就業制限の解除時期等の意見を聞く感染症診査協議会を開催。退院患者には、保健師が服薬支援を継続する。また保健所では、インフルエンザ情報や感染症発生等の情報を市民等に提供している。

議員氏名 会派名 一般質問の大きなテーマ(大項目) 以下、以下の質問に関連している項目 質問 一般質問の小さいテーマ(中項目) 実際質問した内容(小項目) 答 弁 回答した部局名 質問に対する市の担当部局の回答

古木吉昭

市民フォーラム



●豊田市の健康づくり政策

質問 ウォーキングの全市展開

ウォーキングの知識等を習得する講演会や講習会の費用負担についてどのように考えるか。また2台あるAEDのイベントへの貸出状況と今後増やす考えがあるのかを伺う。

答 弁 健康部

市が主催する講習会は、ウォーキングイベントを企画運営するリーダーの育成を目的としたものを実施したい。広く市民が参加する講演会等は、各地域が開催するものにより支援する。平成27年度から出前講座にウォーキングに特化した利用しやすいメニューを追加し、費用負担ではなく、この制度を利用した講師の確保を周知していく。AEDの貸出は、平成25年度24件、26年度30件(11月末現在)。台数を増やす予定はないが、ニーズに応じて適正数を保有していきたい。



豊田スタジアム周辺 ウォーキングコース

岡田耕一

諸派



●市民の声を市政に生かす

質問 精神障がい者に対する医療助成制度の拡大

精神障がい者に対する医療助成制度は、入院の場合、全ての疾患が対象にならず家族の経済的な負担が大きい。本市の心身障がい者の医療助成制度や、刈谷市、安城市、みよし市と同様に全疾患の入院の自己負担分を助成すべきである。精神障がい者への助成拡大を求めるが所見は。また、仮に助成拡大した場合の新たな負担増はどの程度と想定されるか。

答 弁 市民福祉部

全ての疾患の入院助成をした場合、医療助成費は約2千600万円の増加が見込まれる。事業に対し愛知県が補助金を助成しているため、その動向を注視しながら、制度の見直しについて研究していきたい。

田代 研

公明党



●高齢化施策

質問 バリアフリー

交流館等利用者の多い公共施設のトイレは洋式化が望まれるが、市の考えは。また洋式便器のない都市公園トイレや公衆トイレについて便器のみ洋式化する計画はないか、伺う。

答 弁 都市整備部

交流館については、利用者の要望や老朽化など施設の状況を踏まえ、必要に応じて洋式トイレの充実を図っていく。都市公園・公衆トイレについては、これまでも施設改修時等に洋式便器を設置しており、今後も継続していく。また、洋式便器のない都市公園・公衆トイレのほとんどは、個室が1つなどの小規模トイレである。よって施設改修時に個室便器の構成や仕様変更を含めて洋式便器の設置を行うことが合理的であると考えており、便器のみを洋式化する計画はない。

桜井秀樹

市民フォーラム



●子どもたちを育む保育師の確保

質問 保育師の確保策

保育師不足をはじめ現状の保育師が抱える課題に、市として今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答 弁 市長

保育が抱える課題は3つあると考えられる。1つ目の待機児童対策については、

0歳児から2歳児の就園率が現在の14%から平成31年度には27%まで上昇する予測のもと、施設整備を実施していく。保育の質の確保、保育師の人材確保については、2つ目と3つ目の保育の量の拡大と共に質が確保されるよう、保育師の処遇改善や潜在保育師の再就労支援に取組む等、保育師にとって、より働きやすく魅力的な職場環境づくりを進めていきたい。



こども園の様子(イメージ)

加茂みきお

自民クラブ



●公文書管理センターの現状 ●公文書管理の充実・強化と公開

質問 公文書管理の組織体制

公文書管理法第34条の規定にあるように、本市も公文書管理条例の制定を検討する必要があると思うが、市の考えは。

答 弁 総務部

平成23年に施行された公文書管理法を受け、本市では平成25年に情報公開条例と文書管理規程の一部改正した他、歴史公文書管理規定等の整備や公文書管理センターを設け、特に対応が必要であった歴史公文書等の保存、利用に関することを含め、公文書管理法の趣旨に沿った対応を行っていることと認識している。しかし、全国的には条例化を行う自治体も出始めており、これらの動向も注視し研究していく。



公文書管理センター内書庫

根本美春

諸派



●子ども総合計画は子どもの最善の利益優先で ●医療提供体制の整備の早期実現を

質問 新たな救急診療所の整備の早期実現を

救急診療所整備のための準備予算はどのように使われたか。また進捗状況として、整備場所、整備時期、事業費について伺う。また市民から早急な設置が強く望まれているが、市は早期実現についてどう考えるのか。

答 弁 市民福祉部

準備予算については、市職員による法規制解除等の期間確認などの作業のため、予算執行していない。また、整備場所については、医療対策懇話会からの意見を参考に、南消防署から地域文化広場あたりの地域で用地を選定していく。整備時期、整備費は、今後具体的に検討する中で示したいと考えている。実現時期については、現在検討を進めているところである。

木本文也

自民クラブ



●安全・安心な公共施設 ●交通安全対策

質問 交通安全意識向上

交通事故撲滅に向け、愛知県や他の自治体のように現状の課題・問題を明確に交通安全条例に反映し、第9次豊田市交通安全計画の目標数値も明示すべきと考えるが、見解を伺う。

答 弁 社会部

平成27年3月に交通安全条例の一部改正を考えている。今後高齢者が関わる交通死亡事故割合が更に増加する恐れがあること、依然として飲酒運転が無くなること、自転車利用者の法令順守意識が低いことの3つの課題への対策が重要であり、具体

的な取組を追加する。また目標数値の明示は、報道機関への提供と市ホームページへの掲載に留まっているため、豊田市交通安全市民会議等の広報媒体も活用し市民への周知を図っていく。



豊田市交通安全市民会議ニュース

伊井房夫

自民クラブ



●第2次豊田市子ども総合計画 ●商業振興に向けた今後の取組

質問 重点事業

子育ての不安や孤立感を抱えている保護者は多い。子育て不安の解消に向けた重点事業について伺う。

答 弁 子ども部

重点事業は2つある。1つ目は、24時間体制の育児相談コールセンターの設置。育児や子どもの健康等に関する相談がいつでもできるようサポートを行う。2つ目は、ふれあい子育て教室の開催。少子化・核家族化等により子育てが伝承されにくくなり、またデジタル化による遊びの変化等により子育てが難しい時代となっていることから、1歳を迎えた子どもと保護者を対象に、成長に応じた子育てのポイントを親子で楽しく学べる教室を実施する。



子育て支援の様子(イメージ)

岩月幸雄

自民クラブ



●第2次豊田市子ども総合計画

質問 子どもの権利の保障と青少年の健全育成

若者サポートステーションにおける相談事業の先には、訪問支援が必ず必要になると思うが、どのように取り組んでいくのか伺う。

答 弁 子ども部

平成27年度に開設する若者サポートステーションでは、主に概ね18歳から30歳代のひきこもり状態の若者とその親を対象に支援を行う。訪問支援については、現在実施している自立支援相談会の実績では半数近くが保護者からの相談であり、当事者とは面談できていない状況である。まずはそうしたケースにおいて、保護者の了解が得られた際には自宅に直接出向き面談する方策を探る等、訪問支援の導入について検討していく。

一般質問って何がわかるの?

市政全般について質問したり、市の政策に対して提言できる場が一般質問です。一般質問は、これから市が行おうとしている事業など、いち早く市の動きがわかる場でもあります。

議会だよりでは、紙面の都合上、質疑の一部しか載っていませんが、実際には1人30分～60分間行っています。

定例会でどの議員がどのような質問をするかは、事前に議会ホームページに掲載されます。是非議場の雰囲気を感じて来てみてください。傍聴の受付は当日です。お立ち寄りくださるのをお待ちしております。



# 10月市議会臨時会

10月31日に臨時会を開催しました。工事請負契約の締結はじめ5議案を審査し、原案を可決しました。臨時会の内容は以下の通りです。

## 市内初!小学校とこども園を合築します (寺部小学校・寺部こども園)



【議案第113～115号】工事請負契約の締結

**内容** 区画整理事業に伴い人口増加が予測される寺部地区のこども園と小学校を移転新築し、教育・保育環境を整備します。

教育次世代委員会に付託され、承認しました。

### 質問

寺部こども園は小学校と合築した建物となったが、今後のこども園の建設方針はどのようなか。

### 答弁

寺部こども園は、区画整理事業により合築に必要な敷地の確保や建築時期が重なるなどの諸条件が整ったことから、小学校との合築とした。合築をすることで園・小学校の連携促進が図りやすくなるなどのメリットがあると考えており、今後も条件が整った場合には、合築も検討する。

議案 審議結果	10月市議会臨時会に 付議された案件	採決結果	議案のすべてを 全会一致で原案可決
◆議案	第112号 平成26年度一般会計補正予算		
	第113号 工事請負契約の締結 (寺部小学校・寺部こども園移転新築工事)		
	第114号 // (寺部小学校・寺部こども園電気設備工事)		
	第115号 // (寺部小学校・寺部こども園給排水衛生ガス設備工事)		
	第116号 // (美術館空調設備更新工事)		
◆報告	第11号 専決処分の報告 (損害賠償額の決定3件、和解の成立1件)		

## ● 中学生が議会を傍聴

12月16、17日の一般質問を藤岡南中学校の生徒さん4クラス148人が傍聴しました。



## ご存知でしたか?

豊田市役所南庁舎正面玄関に豊田市議会の看板が設置されています。



## ● 大規模災害発生時における 議会の役割について学びました

豊田市民文化会館において、西三河4市の市議会議員が合同研修を開催しました。



### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

「市議会だより」のバックナンバーや  
詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 <http://toyota-shigikai.jp>

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

## ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしています。

【宛先・お問い合わせ】

### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています



### 3月市議会定例会の予定

3月市議会定例会は  
2月20日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。  
本紙から抜き取ってご覧ください。